

トピックス

◎リチウムイオンキャパシタが高圧瞬低対策装置に採用



近年、データセンターや半導体生産工場などでは雷や自然災害の多発による瞬時電圧低下対策として停電時の設備全体の電力をバックアップするニーズが高まっております。当社はこれらのニーズに対応するため、富士電機システムズ株式会社と共同で開発を進め、開発したキャパシタモジュールは、同社の高圧瞬低対策装置8000Hシリーズに採用されました。

リチウムイオンキャパシタにつきましては、永年にわたり開発を続けてまいりましたが、今回世界で初めて高圧瞬低対策装置に採用されたことを実績として、その他の用途に向けたさらなる開発を続けてまいります。

◎『エコプロダクツ2008』へ出展



当社は、昨年12月11日から13日までの3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）にて開催された日本最大級の環境展示会『エコプロダクツ2008』に富士通グループの一員として、出展いたしました。

当社は、携帯電話などのモバイル機器の省エネ・省スペース化を促進する積層チップパワーインダクタ、サーバなどのコンピュータ周辺機器やネットワーク基地局などの省電力化に貢献するDC-DCコンバータなどの環境に優しい製品の展示に加え、リサイクル事業を営むグループ会社の活動紹介、環境保全活動への取り組みの紹介などにより、環境負荷の軽減への取り組みのPRに努めました。

◎高速応答性能と世界最小サイズを実現した可変光アッテネータ「YS-520」を開発



光アッテネータは、光通信システムにおいて、光信号の効率の良い伝送のため、光強度のレベル調整を行なうデバイスです。

今回開発したフリースペース型可変光アッテネータ「YS-520」は、これまで長距離幹線系で培った磁気光学技術や独自の微細加工技術を駆使し、世界最小サイズ（従来比で1/10以下）を実現するとともに、従来製品に比べ30倍以上の高速応答性能（10 μ sec以下）を実現しました。この小型化により、半導体レーザ・ダイオードや高感度受光素子など従来別々に組み込まれていたデバイスを同一パッケージ内へ収納することが可能になるとともに、この高速応答性能により、即座に光の強度を減衰できるため保護回路などのシステム構成の簡素化が可能となります。

◎『TECHNO-FRONTIER 2009』へ出展



当社は、本年4月15日から17日までの3日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）において開催された国内最大規模の開発設計者・生産技術者向けの専門技術展＆シンポジウム『TECHNO-FRONTIER 2009』に出展いたしました。

当社ブースは、蛍光灯に比べ消費電力とCO₂排出を大幅に削減する蛍光灯形LEDランプや省電力化に貢献するDC-DCコンバータなどの環境配慮製品に加え、開発中の製品を多数展示したほか、基板から発生するノイズ（磁界）の測定・可視化ができる近傍界測定システムの実演などを行なったことで、多くの技術者や研究者の方々にご関心を示していただきました。